

平成21年度高鍋町事務事業評価表

◎事務事業の概要

事務事業名	町有林看守事業				開始年度		
基本目標	環境にやさしい林業の振興				終了年度		
担当課(局)	産業振興課	担当係	農林畜産係	記入者	児玉 亘弘	評価者	長町 信幸
20年度決算	52	千円	21年度予算	78	千円	事業の実施方法	<input type="checkbox"/> 補助 <input checked="" type="checkbox"/> 単独
20年度人件費	2,156 千円		21年度人件費	2,185 千円		事業従事者数	0.30 人 0.30 人

◎事務事業の目的・内容

事業の目的	町外町有林の看守
事業の内容	看守員による境界標の保存、火災・誤盗伐の予防、有害動植物の駆除・予防

◎成果指標と活動指標

成果指標	成果指標名	何を狙い、どのような成果が得られたのか
	# 看守員との連携	連携を深めることで、財産を保護できる。
	2 境界標の確認	境界を把握し財産を管理する。
活動指標	活動指標名	どれほどの活動をしたのか、事業の手法、手順等を詳細に
	# 看守員と面談	面談することで、連携を深める。
	2 看守員からの報告	確実に報告を受け、状況を把握する。
	3 -	-

◎達成状況

指標名		単位	19年度	20年度	21年度
成果指標	看守員との連携	目標値	1	1	1
		実績値	1	1	
		達成率	100.0%	100.0%	
	境界標の確認	目標値	1	1	1
		実績値	1	1	
		達成率	100.0%	100.0%	
-	目標値				
	実績値				
	達成率	%	#DIV/0!	#DIV/0!	
活動指標	看守員と面談	目標値	1	1	1
		実績値	1	1	
		達成率	100.0%	100.0%	
	看守員からの報告	目標値	1	1	4
		実績値	1	1	
		達成率	100.0%	100.0%	
-	目標値				
	実績値				
	達成率	%	#DIV/0!	#DIV/0!	

◎事務事業の評価

妥当性 (必要性)	◎目的からして町が行うべきか ◎同様の事業を他課・他団体で行っていないか ◎事業廃止による影響があるのか	町の財産であることから管理者である町が行うべき事業。町有林境界等を把握した現地に詳しい方を看守員として委嘱し、上記活動を実施している。事業を廃止した場合、状況把握ができなくなり町有林の荒廃を招く恐れがある。
有効性	◎目標に対して成果は得られているか ◎成果向上のための改善余地があるか	看守員からの3ヶ月に一度の報告により町有林の状況を把握できる。
効率性	◎活動量の効果は上がっているか ◎経費や時間の削減余地があるか	報酬として1名につき年間で26,000円を支払っているが、町有林の年4回の見回りに関しては、1日掛かりで相当な労力を必要とすることから妥当と考える。
協働性	◎町民との協働の可能性はあるか(ボランティア・NPO等)	境界の把握及び山での専門知識を要するため、困難と考える。

事務事業名	町有林看守事業	担当課(局)	産業振興課
-------	---------	--------	-------

◎総合評価(今後の方向性を含む)

総合評価	◎担当の方針に対する評価者としての所見 ◎統括者として、どのように事業を進めるべきと考えているか、等	町外町有林の保護育成のために最低限必要な事業である。	今後の方向性				
			拡充				
			現状維持			○	
			縮小				
			廃止				
			廃止	縮小	現状維持	拡充	
			コスト				

事務事業評価委員会 評価欄	事業	現状維持	◎人員の確保については、今後も検討すべきである。
	コスト	現状維持	